

2018年 プログラム近況報告

エルサルバドル ティエラ・ヌエバ地域開発プログラム

 ご支援により、地域の子どもたちが
よりよい環境で育つことができます



ティエラ・ヌエバの子どもたち、青少年、地域の人々のために継続的なご支援をいただき感謝申し上げます。本年度の一番の成果は、青少年フォーラムに地域の青少年が参加し、将来を考え、準備をする一歩を踏み出したことです。

一方で、地域に住むすべての青少年が平和構築研修に参加することが、現在の大きな課題です。皆さまの継続したご協力により、今後も地域の子どもたちがより良い生活を送れるように、前進していきたいと思っております。



ティエラ・ヌエバ地域開発プログラム マネージャー
アーネスト・ホセ・アンドラーデ

今年も地域の子どもたちへのご支援をありがとうございます！



チャイルドの絵 「わたしの地域の子どもたち」
(アズセナ、7歳)



チャイルドの絵 「家畜のえさやり」
(フェルナンダ、7歳)



チャイルドの絵 「きれいな水を使えること」
(イエシカ、14歳)



チャイルドの絵 「私の地域の自然」
(キャサリン、7歳)

健康状態が改善しました

子どもたちが、心身ともに健康な生活を送ることができるようになりました。525人の保護者が子どもの発達・成長に応じた子育てについて学び、250人の子どもたちが、健康で安全な生活を送れるようになりました。また、23人の青少年が地域の環境美化や蚊を媒体とする病気の防ぎ方について啓発活動を行い、240人の子どもたちがマラリア予防の知識を身につけることができました。

教育を受けました

子どもたちのコミュニケーション能力が向上しました。13の平和構築クラブで、359人の子どもたちがコミュニケーションスキルの向上と、絵画などを通して自分の意見を発信する研修に参加しました。

青少年が将来に向けての一步を踏み出しました。16人の青少年が若者向けの学びに参加し、就職や進学に関する情報を得て、将来への準備を始めることが出来ました。

地域の人々の中で大切に保護されて成長しました

子どもたちが自分たちに関係する問題について声をあげられるようになりました。303人の子どもたちが、9カ所の青少年クラブで行われた研修に参加し、子どもに対する暴力を見分ける方法を学びました。また、25人の青少年が子どもに関する政策を確認し、声を挙げる活動に参加しました。

価値ある存在として尊重され愛情を受けました

子どもたちは自分たちの価値観や選択肢、人間関係について学んでいます。

1,596人の子どもたちが、4つの地域において、将来良い選択をするために必要な価値観について、レクレーション活動を通して学びました。さらに、113人の青少年が、夏休み中に性教育、暴力を予防する方法や、リーダーシップについての研修に参加しました。



ご支援に感謝します

「青少年フォーラムに参加し、高校を修了してからもどうしたら勉強を続けられるのか知ることができました。私だけでなく、みんなに夢を叶える機会が与えられていることが、とてもうれしいです」
ネリスさん（17歳、左から2番目の膝に手を置いている少女）



「前は工作をどうやって作ればいいのか分かりませんでした。子どもクラブの活動を通して、たくさんの絵画や工作を作るようになって、アートが好きになりました」
ダマリスちゃん（8歳、左から2番目の白いシャツの女の子）



「私の学校には、楽器が全くありませんでした。支援のおかげで、今はクラスメートとギターの練習をすることが出来ます」
ディエゴさん（17歳、写真右）



「私の地域では、誰も環境について関心を持っていませんでした。今、地域にある自然資源を大切に扱うことについて、継続した啓発活動を行っています」
キャティアさん（17歳、横断幕を持つ少女の右から2番目）

アロエベラはエルサルバドルの国中で自生しており、毎日の生活の一部です



🔍 幼稚園の先生になりました！



イメルダさん（写真中央の女性）は、幼稚園の先生として、子どもたちの学びをサポートしています

「私の地域では、子どもたちが将来に備えて勉強したり、訓練を受けるような機会はありませんでした。私の住む地域は辺りな地域にあり、開発が遅れていました」と、地域で教えるイメルダさんは語ります。

“子どもたちに教えることが自分の刺激になっています”

「そんな時、青少年クラブに参加する機会がありました。クラブでは、絵を描くことや、ピニャータ*の作り方を学びました。そこで学んだことは、実用的ですぐに子どもたちを教えるときに役立ちました。今では、私は幼稚園の先生

として、就学前教育に携わっています。子どもたちに教えることが刺激になり、さらに良い教育者になれるように、もっと研修を受けたいと思うようになりました」

*ピニャータ：動物や星などを紙で形どったくす玉のようなもの。パーティなどでは、中にキャンディをつめて高いところに吊るし、それを目隠しをした子どもが叩いて割るゲーム。

📞 お問い合わせ先
 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
 電話：03-5334-5351（平日9:30～17:00）
 📧 e-mail：dservice@worldvision.or.jp
 ホームページ：www.worldvision.jp

プログラム番号 SLV-181324

エルサルバドル ティエラ・ヌエバ地域開発プログラム(SLV-181324)

2017年度(2016年10月1日-2017年9月30日)

会計報告

活動内容

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	29,103,127
前期からの繰越額	262119
プログラム支援額合計	29,365,246

プログラム支出額	
安全な地域社会の創生プロジェクト	2,497,509
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	26,737,293
プログラム支出額合計	29,234,802
次期繰越額	130,444

安全な地域社会の創生プロジェクト

- 住民組織の防災力育成
- 子どもの権利保護を促進する地域力強化
(ローカルアドボカシー等)

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- 就学前教育および初等教育の質向上の取り組み
- 7歳~20歳を対象としたライフスキル能力の向上およびコミュニティの計画策定プロセスへの参加促進
- 手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- チャイルドの定期的なモニタリング
- 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
- 青少年グループのネットワーク強化や、グループが企画した文化的イベントの実施支援